



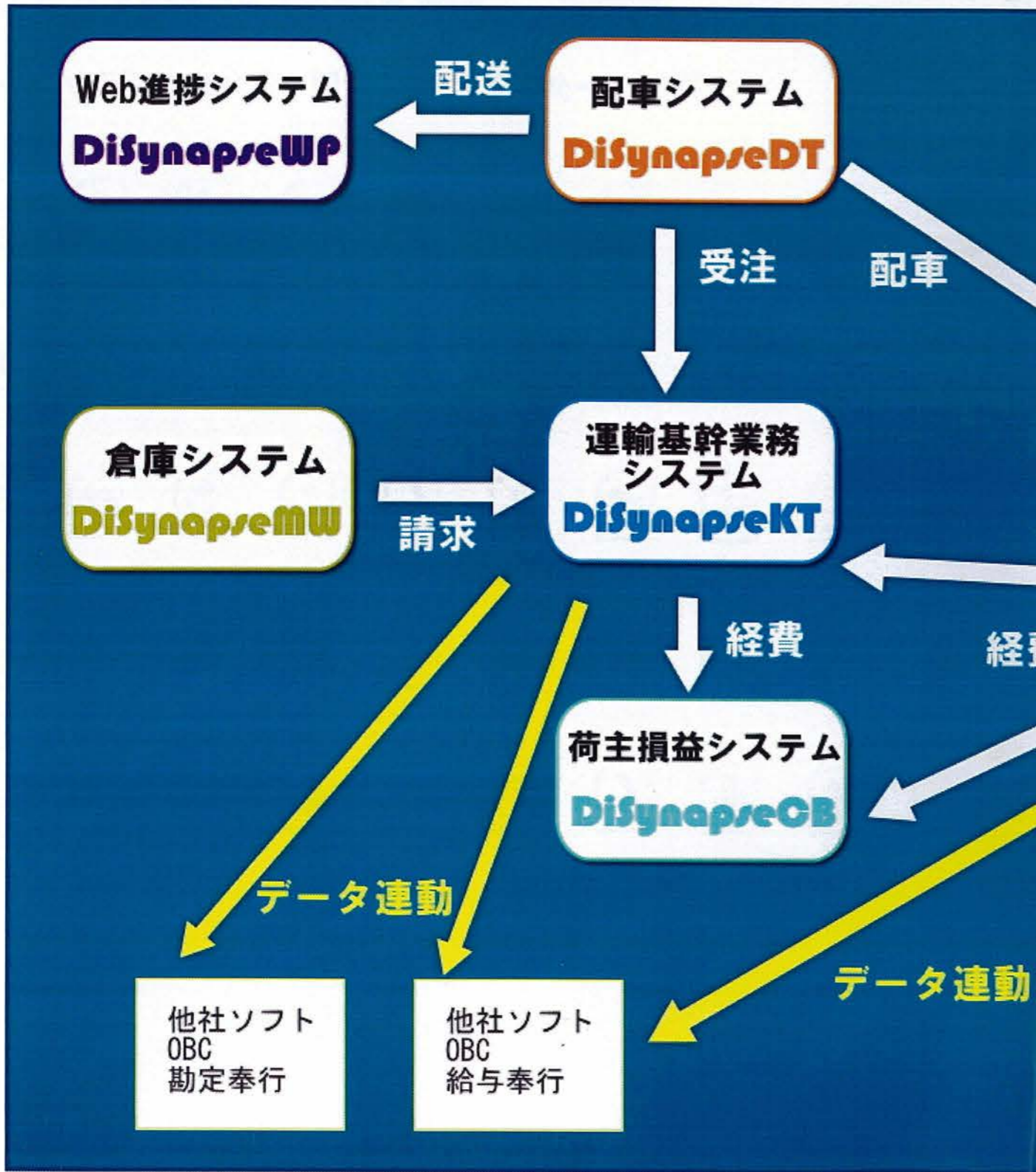
運輸業総合管理システム

Disynapse

業務データを最大限に活用するためのプラットフォーム

請求・デジタコ・配車といった単体でしか稼働しない既存の物流システムとは違い、さまざまな分野において開発されたシステムを効率的に一元化し、運送業者様における最大限の合理化と利益追求を達成するシステムです。

また、自社システムだけでなく、他社システムをも取り込む柔軟な発想を元に構築し、お客様が一切の無駄を感じることはないシステムを実現しました。



DiSynapse導入メリット

1 多彩なシステム群から自社のベストを選択

ディナプスは、お客様のご要望を活かし開発された多彩なシステムがパッケージ化されています。必要なパッケージを選択する事で、カスタマイズを抑え自社にとって最適なシステムを構築する事ができます。

2 データの連動で効率的で確実かつスピーディーな業務処理を実現

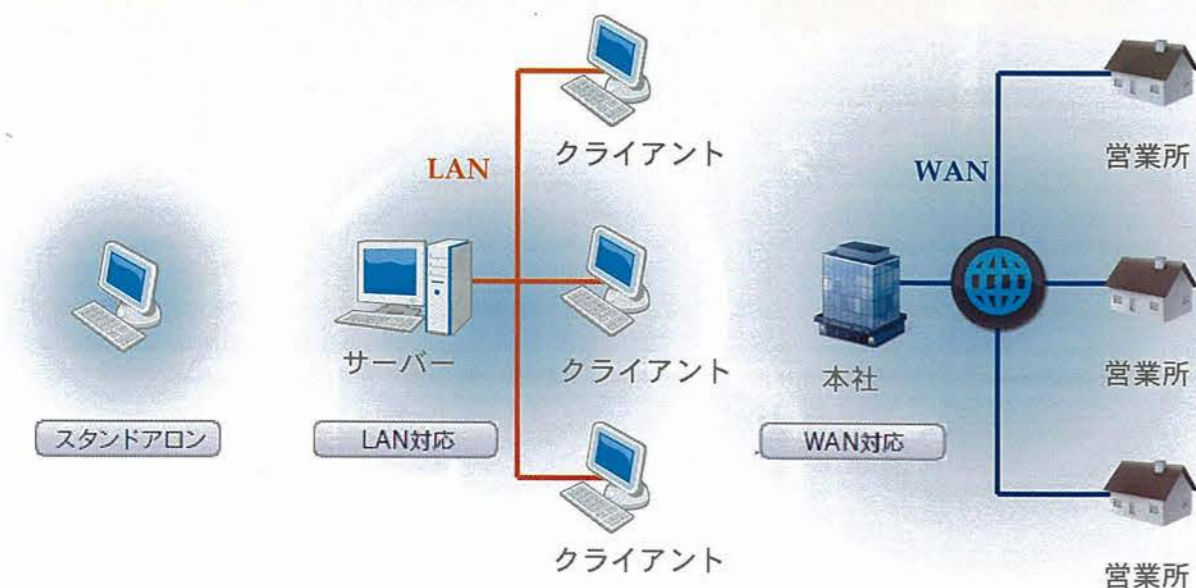
各業務データは、データ連動を実現しています。伝票の二重登録などのミス・ロスを省き、データを有効活用する事ができます。さらなる業務のスピードアップを図ります。

3 自社開発だからこそ柔軟なトータルシステムを実現

基幹業務からサブシステムまで自社開発です。標準パッケージにない独自の機能を追加する事で、実運用に合った使いやすいシステムを、柔軟に構築する事ができます。

DiSynapseシステム構成

スタンドアロンの最小構成から、LAN (構内ネットワーク)、WAN (営業所間ネットワーク) まで、企業規模に応じたシステム構成が選択できます。



労働時間管理システム DiSynapse II

機能
労働時間管理

電子点呼システム DiSynapseRC

機能
点呼記録

IT点呼システム DiSynapseIT-RC

機能
点呼記録/なりすまし防止

配車システム DiSynapseDT

機能
受注処理/配車処理/備車引合

運行計画システム DiSynapseOP

機能
運行計画/運行指示

車載運行管理システム DiSynapseMD

機能
日報処理/運行経費

運輸基幹業務システム DiSynapseKT

機能
売上処理/請求処理/支払処理/売買掛処理/
経費処理

WEB進捗システム DiSynapseWP

機能
COMING SOON


倉庫システム DiSynapseMW

機能
COMING SOON

労働時間管理システムってなんだ？

運送事業者の皆様が抱える

労働時間に関する問題
を
解決します！！



運転手の労働時間が把握できない！

労働時間が分っても基準に違反しているかチェックするのが大変

違反している部分をどのように改善すればいいのかわからない


そもそも運行指示書を作る時点で無理のない運行計画を立てたい



システムの考え方

労働時間管理システム取り組み

- 1 監査の際に重視される労働時間管理を基本としています。
- 2 運転手の労働時間を把握し、違反しないよう運行計画時に警告します。
- 3 違反してしまった場合でも、運行管理者が運転手に指導できる仕組みを考えました。
違反に対し何が悪かったかを明確化し、改善につなげることができます。




運送業務全般が改善に取り組む
徹底的に把握し、とができるんです。

トラック運転手の労働時間等の改善基準のポイント

改善基準に準じた違反、警告内容が
労働時間管理システムでは確認できます

ポイント 1

1 運行ごとに改善基準を満たしているか判断して結果を表示できます。警告や違反の状況を運行管理者だけでなく、運転手にも把握させることで遵守しなくてはならない事項を全社統一で意識できる仕組みとなっています。

拘束時間超過	×
休憩時間不足	
拘束時間15時間超過 週2回超え	△
運転時間前後2日平均9時間超え	
休憩時間不足	
分割休憩時間不足	

ポイント 2

2 運転手ごとにどのような違反・警告があったのか1か月を通してチャート化します。1か月の運行形態を把握し、再確認することで、翌月以降どの様に運行を計画するのか検討材料になります。



労働時間を違反している日報が確認できます。日報ごとに違反内容が示され、改善が必要な運行を把握することができます。



ポイント 3

3 日報単位で改善基準を満たしていない違反・警告を確認できます。次運行からの改善策を講じるための資料となります。運転手ごとに違反・警告の一覧で印刷されますので、指導を行う上での資料にもなります。

違反内容	
違反	拘束時間が16時間を超えています。
違反	労働時間が6時間超、8時間以下の場合、45分以上休憩してください。
違反	拘束時間が16時間を超えています。

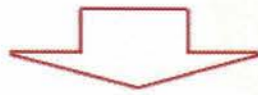
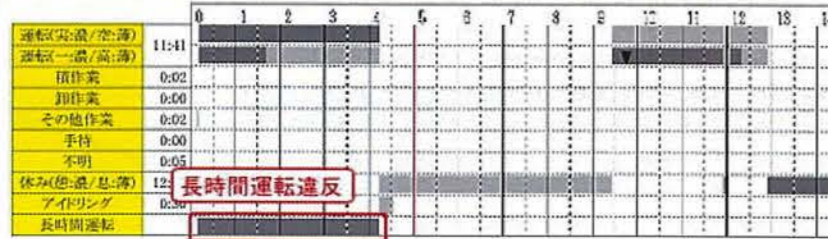


確認できた内容を自動で改善するのが最大の特長

ポイント

4 労働時間の違反となった日報に対して、本来であればこのような運行がのぞましいという形で規範となる運行の流れを自動判定で作成します。

違反内容	
違反	連続運転時間が4時間を超えています。
違反	連続運転時間が4時間を超えています。



規範日報チャート



実績取込みから改善し、次回へのモデルデータへの展開

ポイント

5 車載システムが導入されている場合には運行実績データとして取り込んで表示することが出来ます。

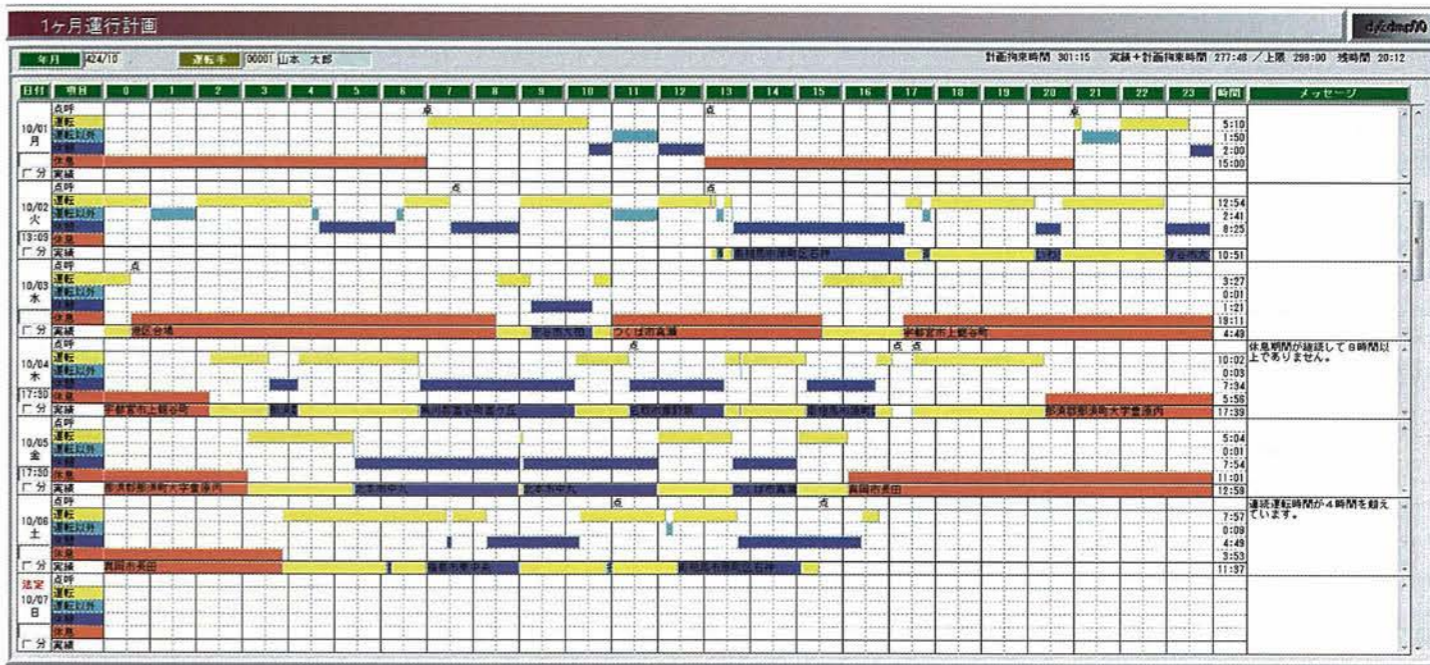
運行指示内容が改善基準告示に沿

- ・拘束時間が16時間を超えています
- ・拘束時間が20時間を超えています
- ・休息期間が継続して8時間以上ではない
- ・休息期間が継続して4時間以上ではない
- ・連続運転時間が4時間を超えています
- ・前日の勤務は前後2日平均の運転時間以内
- ・労働時間が6時間を超え、8時間以内
- ・労働時間が8時間を超えているにも関わらず1時間以上の休憩が確保されていません
- ・分割休息時間不足、分割休息期間以上、合計10時間以上ではありません

ない場合に警告します。

ポイント

6 予め登録しておいた計画モデルからデータを活用できます。



1ヶ月運行計画

1ヶ月の運行状況を確認しながら運行計画を立てる事により、違反の予測ができます。運行計画を作成しない運行の場合でも、デジタコの運行実績データを取り込む事により、月間の違反内容が一目で確認できます。

電子点呼システム

DisynapseRC (RC:the Roll Call)

法令遵守を完璧に実践できるシステムです！

点呼記録簿のデータ化を実現。
発行される記録簿は、トラック協会などの配布様式に準拠しています。
また、アルコール測定機との連動も可能で、業務効率を上げながら、コンプライアンスを実現できるシステムです。

点呼システム導入パターン

▶ 電子点呼システム

点呼執行時に点呼記録入力画面にてデータの入力を行う事で点呼記録簿を作成するシステムです。
アルコール測定機との連動で車両・運転手名・点呼時間等の項目が自動的に登録されますので、点呼簿記入の手間を削減できます。



▶ 電子点呼システム(動画記録対応)

電子点呼システムの機能に加え、対面点呼時に限り動画記録が可能なシステムです。



点呼記録

【点呼記録入力】

乗務前・乗務後、乗務途中の点呼を点呼執行時に入力します。
入力された内容は点呼記録簿に反映されます。
改ざん防止としましてデータ登録を行った後の修正は不可となります。



【点呼記録入力(動画記録対応)】

乗務前・乗務後の点呼を動画で記録しながら登録できます。
入力された内容は点呼記録簿に反映されます。
改ざん防止としましてデータ登録を行った後の修正は不可となります。



【点呼記録簿】

入力された点呼データをもとに、点呼記録簿の作成ができます。
点呼記録簿の様式については、平成23年5月1日施行のアルコールチェッカー使用義務化に対応しております。

平成23年10月1日 土曜日 天候

点呼記録簿

【毎日確認すべき事項】
 アルコール検知器に異常が検出されたこと
 アルコール検知器に異常がないこと

【毎日確認することが望ましく、少なくとも1週間に1回以上確認すべき事項】
 酒気を帯びていない者が検知器を使用した場合には検知しないこと
 アルコールを含有した液体(洗口液)を口内に噴霧し、アルコール検知器を使用した場合にアルコールを検知すること

運行管理者名 山本太郎 運行管理者(補助者) 高橋次郎

乗務前点呼事項				乗務途中点呼事項				乗務後点呼事項						
車番	運転手名	作業別名	時刻	点呼時間	点呼方法	執行者名	運行安全確保に必要な事項(備考事項)	車番	運転手名	時刻	点呼時間	点呼方法	執行者名	運行安全確保に必要な事項(備考事項)
700	今川 義元	積込	04:30	08:50	対面	高橋		10-04	佐竹 義重	積込	17:10	23:52	対面	山本
10-04	佐竹 義重	積込	17:10	17:10	対面	山本		10-10	崎実	積込	04:15	18:30	対面	山本
10-11	積込													

乗務前点呼事項: 異常有/無, 異常有/無, 異常有/無, 異常有/無, 異常有/無, 異常有/無
 乗務途中点呼事項: 異常有/無, 異常有/無, 異常有/無, 異常有/無, 異常有/無, 異常有/無
 乗務後点呼事項: 異常有/無, 異常有/無, 異常有/無, 異常有/無, 異常有/無, 異常有/無

【乗務前点呼記録項目】

- ・点呼執行者名
- ・運転者名
- ・運転者の乗務に係る事業用自動車の自動車登録番号又は識別できる記号、番号等
- ・点呼日時
- ・点呼方法
(対面でない場合は具体的方法)
- ・運転者の疾病、疲労、飲酒等の状況
- ・日常点検の状況
- ・その他必要な事項

【乗務後点呼記録項目】

- ・点呼執行者名
- ・運転者名
- ・運転者の乗務に係る事業用自動車の自動車登録番号又は識別できる記号、番号等
- ・点呼日時
- ・点呼方法
(対面でない場合は具体的方法)
- ・自動車、道路及び運行の状況
- ・交替運転者に対する通告
- ・その他必要な事項

据置型アルコール測定機



東海電子製 ALC-PRO II

全ての機能が1つのパッケージに収まっている、オールインワンの機種です。パソコン連動が前提です。



サンコーテクノ製 SG358-S

ランニングコストが安く、単体使用からパソコン連動へステップアップできます。

携帯型アルコール測定機



サンコーテクノ製 TR-1

本体に30件まで記録を残せ、携帯電話と接続して結果を送信できます。



タニタ製 HC-211

低価格ですが、センサー交換が可能です。

電子点呼システム導入メリット

1 点呼記録の履歴が確認できます

点呼の記録をデータ化することで必要なときに点呼記録簿を印刷できます。

2 点呼の流れを確立できます

運行管理者が変わっても点呼実施の内容が同じ流れでできるようになります。

3 点呼内容を動画で記録

点呼内容が動画で記録されますので、点呼実施を確実に証明できるようになります。

IT点呼システム

DisynapseIT-RC (RC:the Roll Call)

運行管理者の労力を大幅に削減できます！

夜間、別営業所からWebカメラ、マイクなどのIT機器を用いて営業所間点呼を動画記録可能としたIT点呼システムです。

IT点呼システム導入パターン

▶ 点呼実施営業所側

IT点呼システム

DisynapseIT-RC

WEBカメラ 2台

マイクスピーカー 1台



オプション



アルコールチェッカー 免許証リーダー パトライト

インターネット
※要固定IPアドレス

▶ 被点呼実施営業所側

IT点呼システム

DisynapseIT-RC

WEBカメラ 2台

マイクスピーカー 1台

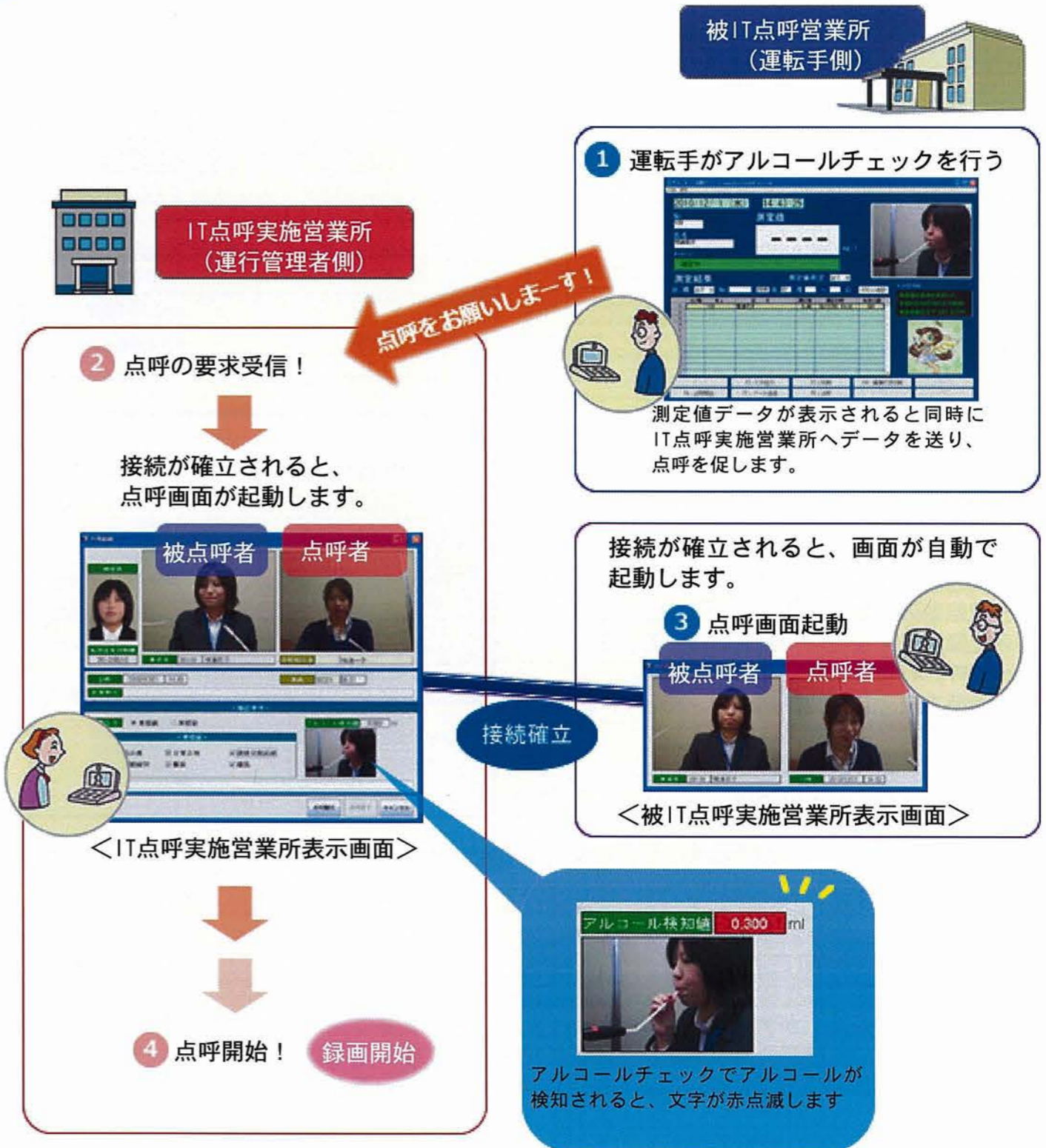


オプション



アルコールチェッカー 免許証リーダー

IT点呼の流れ



IT点呼実施営業所、被IT点呼実施営業所それぞれに相手の状況を動画表示して状況を確認しながら点呼を実施します。

点呼開始から点呼終了まで動画が記録され続け、記録された動画および点呼情報は双方の営業所にデータとして記録されます。

点呼記録

【乗務前点呼記録項目】

- ・点呼執行者名
- ・運転者名
- ・運転者の乗務に係る事業用自動車の自動車登録番号又は識別できる記号、番号等
- ・点呼日時
- ・点呼方法
(対面でない場合は具体的方法)
- ・運転者の疾病、疲労、飲酒等の状況
- ・日常点検の状況
- ・その他必要な事項



【乗務途中点呼入力／点呼記録閲覧】

改ざん防止としまして乗務前点呼と乗務後点呼につきましては入力、修正は不可となります。
乗務途中点呼のみ入力が可能となりますが、登録後は修正できないようになっています。



【乗務後点呼記録項目】

- ・点呼執行者名
- ・運転者名
- ・運転者の乗務に係る事業用自動車の自動車登録番号又は識別できる記号、番号等
- ・点呼日時
- ・点呼方法
(対面でない場合は具体的方法)
- ・自動車、道路及び運行の状況
- ・交替運転者に対する通告
- ・その他必要な事項



【点呼記録簿】

入力された点呼データをもとに、点呼記録簿の作成ができます。
点呼記録簿の様式については、平成23年5月1日施行のアルコールチェッカー使用義務化に対応しております。

アルコールが検知された場合

被点呼者（運転手）がアルコールチェックを行った際にアルコールが検知されるとアルコールチェック時の画像部分に検知された数値が表示されます。
点呼者は点呼を継続できませんので、被点呼者に時間をとおいてから再度アルコールチェックを実施するよう促します。

点呼開始にしてアルコールの値が検知された事実を記録として残すこともできます。
その場合には指示事項に再度アルコールチェックを促した旨の内容を入力します。



平成23年10月1日 土曜日 天候

点呼記録

【毎日記録すべき事項】
 アルコール検知値に異常が入ること
 アルコール検知値に異常がないこと

【毎日記録することが望ましく、少なくとも1週間に1回以上確認すべき事項】
 異常を察していない者が検知値を使用した場合に記録しないこと
 アルコールを含有した液体（汗・唾液）が口内に侵入し、アルコール検知値を使用した場合にアルコールを検知すること

統計運行管理者名 山本太郎 運行管理者(補助者) 高橋次郎

乗務前点呼事項	乗務途中点呼事項										乗務後点呼事項											
	乗務者名	仕事割当	日次点呼	有酒	有疲労	有疾病	有異常	点呼時間	点呼方法	執行者名	運行安全確保に必要事項(指示事項)	乗務者名	仕事割当	日次点呼	有酒	有疲労	有疾病	有異常	点呼時間	点呼方法	執行者名	運行安全確保に必要事項(指示事項)
8-52 西川 潤雄	仙台～西川	レ	○	○	○	○	レ	03:30	レ	高橋		レ	○	○	○	○	レ	14:35	レ	レ	山本	
8-56 山中 幸哉	仙台市内配送	レ	○	○	○	○	レ	03:55	レ	高橋		レ	○	○	○	○	レ	19:20	レ	レ	山本	
9-23	休車		○	○	○	○							○	○	○	○						
9-34 六角 雅賢	仙台～仙台	レ	○	○	○	○	レ	17:00	レ	山本		レ	○	○	○	○	レ	23:10	レ	レ	山本	
785 今川 誠元	仙台～福島	レ	○	○	○	○	レ	08:50	レ	渡邊		レ	○	○	○	○	レ	17:36	レ	レ	山本	
786 武田 達夫	仙台～福島	レ	○	○	○	○	レ	06:30	レ	渡邊		レ	○	○	○	○	レ	16:32	レ	レ	山本	
787 徳川 宗康	仙台～いわき	レ	○	○	○	○	レ	08:12	レ	渡邊		レ	○	○	○	○	レ	16:50	レ	レ	山本	
788 立花 達貴	仙台～福岡	レ	○	○	○	○	レ	07:00	レ	渡邊		レ	○	○	○	○	レ	16:00	レ	レ	山本	
789 北条 氏康	仙台～石巻	レ	○	○	○	○	レ	15:35	レ	山本		レ	○	○	○	○	レ	19:35	レ	レ	山本	
790	休車		○	○	○	○							○	○	○	○						
791 藤田 達夫	仙台～山形	レ	○	○	○	○	レ	09:44	レ	本村		レ	○	○	○	○	レ	18:54	レ	レ	山本	
792 上杉 謙隆	仙台～北上	レ	○	○	○	○	レ	07:12	レ	渡邊		レ	○	○	○	○	レ	18:49	レ	レ	山本	
793 毛利 光就	仙台～奥津	レ	○	○	○	○	レ	06:00	レ	渡邊		レ	○	○	○	○	レ	17:50	レ	レ	山本	
10-00	休車		○	○	○	○							○	○	○	○						
10-01 藤倉 孝景	仙台～鶴岡	レ	○	○	○	○	レ	09:10	レ	本村		レ	○	○	○	○	レ	16:15	レ	レ	山本	
10-02 豊田 秀吉	仙台～郡山	レ	○	○	○	○	レ	11:10	レ	本村		レ	○	○	○	○	レ	19:10	レ	レ	山本	
10-03 伊藤 延三	仙台～千葉	レ	○	○	○	○	レ	18:42	レ	山本		レ	○	○	○	○	レ	22:15	レ	レ	山本	
10-04 佐竹 龍彦	野宮～名古屋	レ	○	○	○	○	レ	17:10	レ	山本		レ	○	○	○	○	レ	21:00	レ	レ	山本	長時間運転注意
10-05 藤上 義光	宇都宮～仙台	レ	○	○	○	○	レ	18:55	レ	山本		レ	○	○	○	○	レ	23:40	レ	レ	山本	
10-06 渡井 長政	大塚～奈良	レ	○	○	○	○	レ	14:30	レ	山本		レ	○	○	○	○	レ	19:53	レ	山本	異常状態確認	
10-07	休車		○	○	○	○							○	○	○	○						
10-08 伊達 政幸	仙台～八戸	レ	○	○	○	○	レ	19:00	レ	山本		レ	○	○	○	○	レ	23:00	レ	レ	山本	
10-09 真田 幸村	福島～仙台	レ	○	○	○	○	レ	19:08	レ	山本		レ	○	○	○	○	レ	22:05	レ	レ	山本	高速工事注意
10-10 岡 晴賢	仙台市内配送	レ	○	○	○	○	レ	04:15	レ	高橋		レ	○	○	○	○	レ	18:30	レ	レ	山本	
10-11	休車		○	○	○	○							○	○	○	○						
10-12 保田 謙家	新潟～金沢	レ	○	○	○	○	レ	19:30	レ	山本		レ	○	○	○	○	レ	21:50	レ	レ	山本	
9-47 片倉 豊嗣	仙台～福島	レ	○	○	○	○	レ	09:00	レ	本村		レ	○	○	○	○	レ	18:20	レ	レ	山本	
9-53 三好 長俊	仙台～大塚	レ	○	○	○	○	レ	19:14	レ	山本		レ	○	○	○	○	レ	22:30	レ	レ	山本	
8-58	休車		○	○	○	○							○	○	○	○						
8-48 朝野 光秀	仙台～大塚	レ	○	○	○	○	レ	19:18	レ	山本		レ	○	○	○	○	レ	22:40	レ	レ	山本	

移動 台 休車 台 出勤 台 公休 台 有給 台 欠勤 台 交代者氏名 早退者氏名

※点呼の方法：電話点呼は行先地から行い、遠隔地運行、行先地からの行先地に移動時。 チェックの方法：員の場合は手でチェックしてください。 検出単位：1pp(検出値7pp)。 (バス・トラック)

なりすまし防止

【なりすまし防止策】

点呼のなりすまし防止のために被点呼者の動画脇に本人確認のための画像を表示します。
画像は社員マスタにあらかじめ登録されている画像を表示します。
点呼者は画像と比較して確認することができます。



アルコールチェックのなりすまし防止も考慮しています。
被点呼者がアルコールチェックを行った際の画像が表示されます。
点呼者は被点呼者とアルコールチェックした人が同一人物かどうか確認することができます。



IT点呼システム導入メリット

1 点呼の流れを確立できます

運行管理者が変わっても点呼実施の内容が同じ流れでできるようになります。

2 IT点呼導入で人件費削減ができます

点呼を別営業所から遠隔でできるようになり、深夜・早朝の人件費の削減に繋がります。

配車システム

DisynapseDT (DT:Dispatch of Trucks)

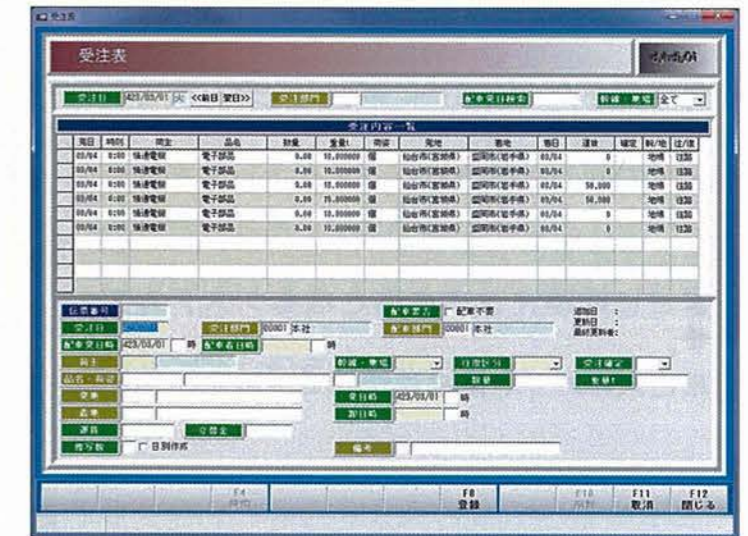
配車のシステム化はむずかしいと考えていませんか？

従来の手書き黒板の配車板を意識して作っています。
受注入力したデータが次々と画面右側に表示されます。そのデータをカードのように掴んで貼り付けていきます。
運転手の管理は拘束時間の実績と直結しており、累計時間を見ながら配車できます(293時間を超えていないか)。
配車確定データは運輸基幹業務システムへ自動連動します。
未配車データに理由づけすることで、チャンスロスの管理ができます。

受注処理

【受注表】

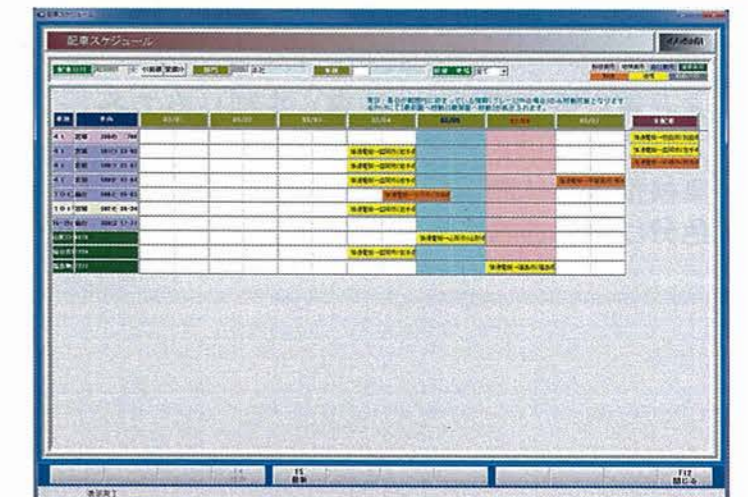
受注段階での入力です。
必ず配車するデータのみ登録もできますが、結果配車しなかった一時的な受注も登録できます。
これにより、チャンスロスの管理ができ、配車ロスや効率アップの戦略を考える上で、大きな武器となります。
複数明細同時入力や過去データ複写も可能です。
事務効率を最善に考えたシステム作りをしています。



配車処理

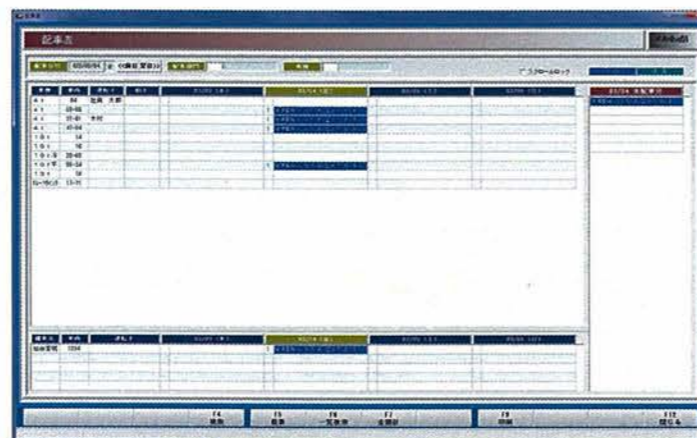
【黒板配車表 (スケジュール)】

横軸を1週間分表示します。
運行管理も考慮した配車を確認します。



【黒板配車表（詳細）】

横軸を4列にすることによって表示内容を増やします。
近々の配車状況が素早く確認できるようになります。



備車引合

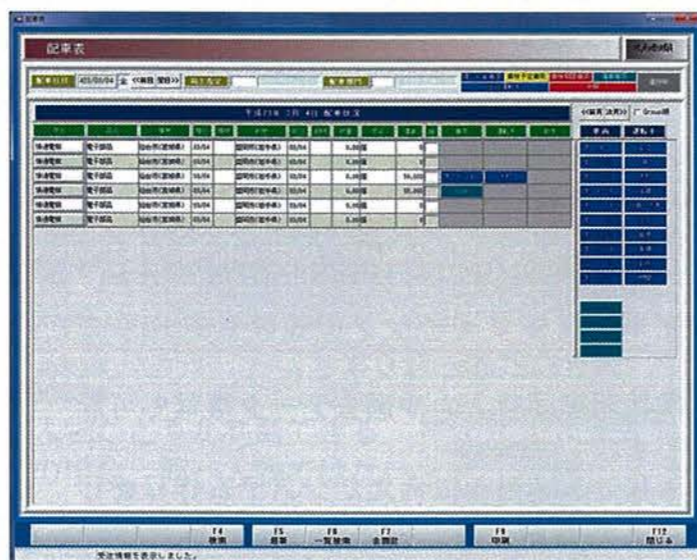
【備車引合】

あらかじめ備車状況を登録し、より効率的な配車を可能とします。



【求車（パターン）】

受注データ（仕事）に車と人を割り当てる方式です。
全ての割当はドラッグ（マグネットを貼りつけるイメージ）で確定し、変更も容易に行えます。
まさに配車マンの右腕となるシステムです。
車と人のカードは複数作成できます。



【求荷（パターン）】

人と車に受注データ（仕事）を割り当てる方式です。
車検情報や休暇情報を事前に登録すると、色分け表示されます。



配車システム導入メリット

1 配車業務の時間短縮

様々なパターンの配車画面を用意していますので、御社の運用にあわせた配車が可能です。
配車作業は、マウス移動（ドラッグアンドドロップ）で可能ですのでどなたでも簡単に操作できます。
ご希望により、カスタマイズも可能ですので、フレキシブルな配車も可能です。

2 車両台数管理や備車管理まで可能です

自車のほかに備車の引き合いにも対応していますので、運輸基幹システムと連動する事で、備車への支払い管理まで可能です。

運行計画システム

DisynapseOP (OP:Operation Plans)

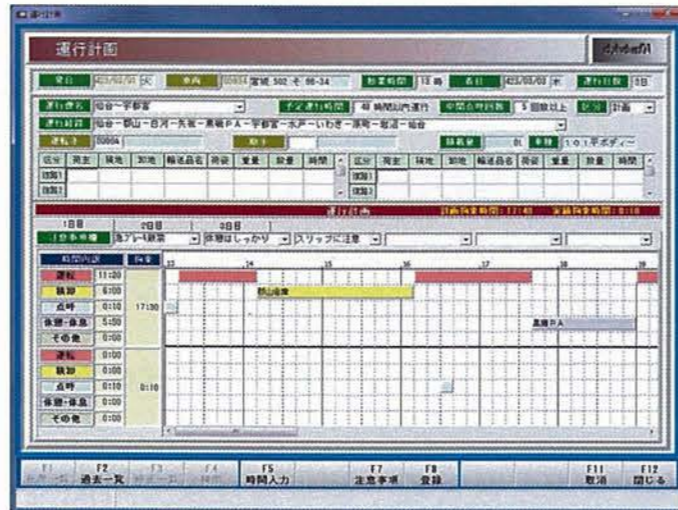
ムリのない運行とムダのない運行計画を作成します！

運行計画書 (48時間以上の運行には携帯必須) を作成するシステムです。
運行計画書の作成が省略化できます。
車載運行管理システム (デジタルタコグラフ) と連動し、計画対実績の分析が即座に行えます。

運行計画・指示

【運行計画】

2段階の入力処理です。
配車内容をまず入力します。
(システム連動可能)
運行計画チャートを入力します。



運行計画システム導入メリット

1 配車業務と連動した運行計画の作成

配車システムと連動し、運行計画の作成が可能です。
作成された運行指示書を運転手に手渡すことで、法令遵守はもちろん、効率的な運行管理ができます。

2 運行計画と実績との対比が可能

車載システムとの連動を行うことで、計画と実績を比較分析が即座に可能です。

車載運行管理システム

DisynapseMD (MD:Management of Driving)

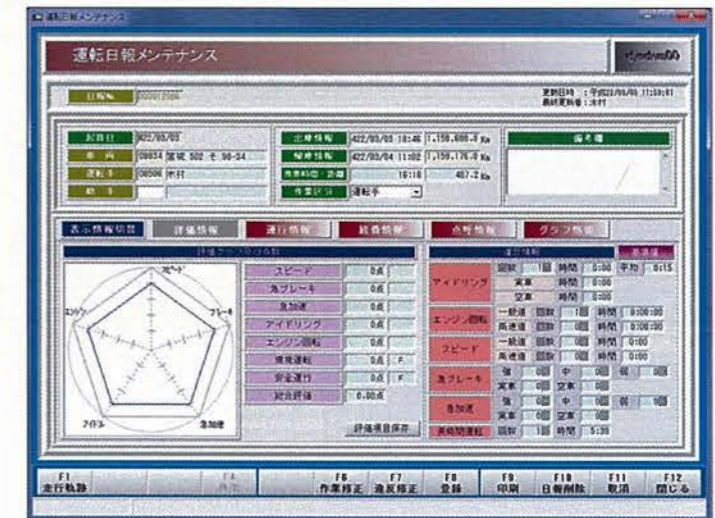
安全運転とエコドライブのための必須ツールです！

富士通製デジタルタコグラフを利用した運行管理システムです。
今まで見えなかった情報を即分析することができます。
さらなる安全管理、経費削減を実現します。
分析の仕方によって荷主別の収支まで管理でき、営業の武器としても活用できます。

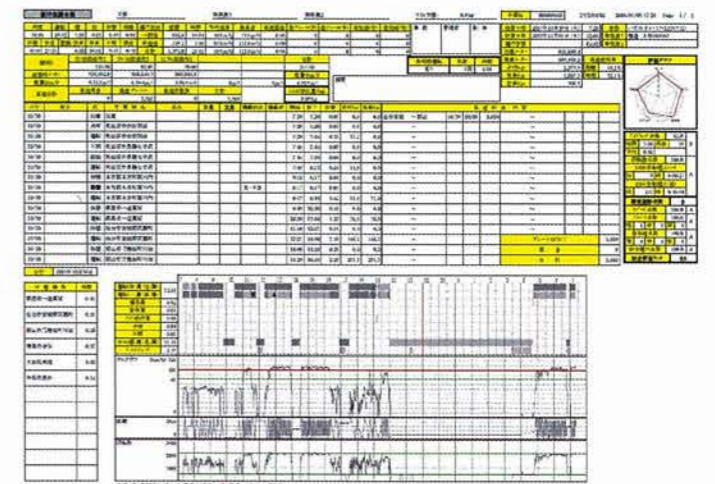
日報処理

【運転日報メンテナンス】

運転日報のイメージそのままにパソコンの画面にて把握できます。
管理者が多面的に分析できます。
運行管理者は細やかに運行内容を把握し、即座に運転手に指導することができます。
安全運転や経済運転 (燃費) について、徹底した教育を行うことによって、社員の意識向上を図ります。



【運転日報イメージ】

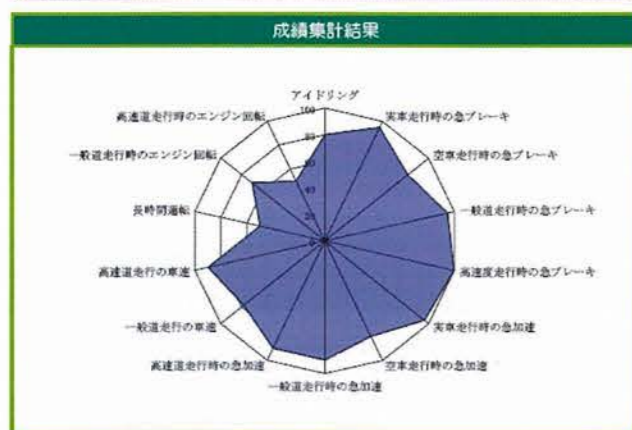


【デジタコ情報分析報告書】

乗務員ごとの集計表をグラフ化して表示印字することができます。数字ではわかりづらい、社員へビジュアル的にイメージとして意識付けることができます。

乗務員 情通 太郎 (対象期間) 平成19年1月21日 ~ 平成19年7月20日

1. 総合成績



項目	スコア
アイドリング	80
空車走行時の急ブレーキ	95
空車走行時の急ブレーキ	80
一般走行時の急ブレーキ	95
高速走行時の急ブレーキ	100
空車走行時の急加速	95
一般走行時の急加速	80
高速走行時の急加速	90
一般走行時の急加速	90
一般走行の車速	78
高速走行の車速	90
一般走行の車速	90
長時間運転	80
一般走行時のエンジン回転	70
高速走行時のエンジン回転	80

項目	スコア	参照
空車走行時の急ブレーキ	95	2ページ参照
アイドリング	80	2ページ参照
エンジン回転超過時間	95	3ページ参照
急ブレーキ回数(一般車/空車)	95	4ページ参照
急加速回数(一般車/空車)	95	4ページ参照
急ブレーキ回数(高速車/空車)	95	5ページ参照
急加速回数(高速車/空車)	95	5ページ参照
車速超過回数	95	6ページ参照

手当日安全額 500 円

乗務員 情通 太郎 (対象期間) 平成19年1月21日 ~ 平成19年7月20日

2. 移動情報

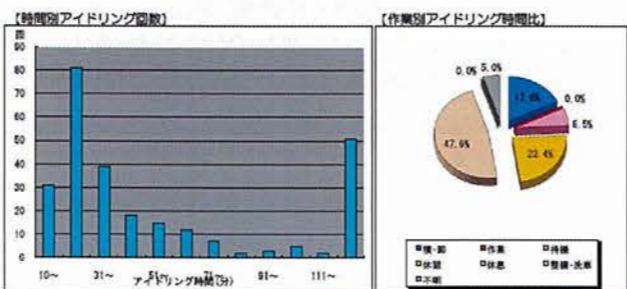
走行距離	20,413.0 Km	平均速度	59.0 Km/h
空車距離	17,658.2 Km	給油量	10,341.25 ㍓
空車距離	2,754.8 Km	燃費	1.97 Km/㍓
稼働時間	869.55 時間	CO ₂ 排出量	0 t/月

稼働時間詳細		拘束時間	
運転時間	346.03 時間	拘束時間	640.47 時間
検時間	101.16 時間	基準時間	0.00 時間
始時間	59.56 時間	超過時間	640.47 時間
作業時間	3.32 時間	拘束時間外	229.08 時間
待機時間	26.46 時間		
休憩時間	103.14 時間		
整備・洗車時間	0.00 時間		
休息時間	229.08 時間		
不明時間	34.27 時間		

未使用率が2.8%と機器を利用しようという意欲はしていますが、社内規定の許容時間24.17を超えています。う以上に意欲を高め、活用していくように努めましょう。

3. アイドリング

総稼働時間	869.55 時間	アイドリング消費燃料金額	0 円
アイドリング	0:10 時間	アイドリングによる燃料消費削減金額	0 円
空車	0:10 時間		
空車	0:00 時間		



アイドリング率が55.2%となっています。経費削減・環境に優しい運転について再度考え、社内基準を守るよう努めてください。

富士通車載ステーションMBCDシリーズ

車載ステーションで収集した運行データは、「デジタコ情報分析報告書」として安全・環境運転の状況を詳細に把握することができます。

グラフ化して表示印字することができますので、数字だけではわからない、運転者の運転傾向や安全・環境運転への意識づけを行うためのツールとして活用いただくことができます。

ETC(メーカー限定)とのハード連携も可能です。ハード連携しなくてもソフト連携もできますので、日報に高速料金を出力できます。オプションで温度センサ・ドアセンサも接続できます。



運行経費

【経費情報入力】

運転日報メンテナンスから運行毎の経費情報の入力ができます。

- ①燃料費：給油先、L数、給油時オドメーター、単価、金額
- ②高速料金：入口IC、出口IC、通過時刻、金額
- ※ETC連動の場合は入力が不要
- ③手当：各種運行手当金額
- ④その他：オイル代、タイヤ代、洗車代など



【経費明細一覧表】

運行に関する経費を発生した日毎に見ることができます。日別はもちろん、車両別、運転手別、経費品目別など任意設定で見ることができます。給油先別の燃料使用量の確認や使用区間と料金の確認もできます。

車載運行管理システム導入メリット

1 燃費向上と経費削減

アイドリングや速度抑止による、燃費向上が可能です。

2 事故の軽減

運転手が安全運転を意識することで事故が減ります。結果として保険料も削減されるケースが増えます。

業務効率化と事務効率化を強力にご支援します！

単に請求書を作成する為のシステムではありません。

業務効率化と事務効率化を推進するためのシステムとして活用頂けます。

<入力のしやすさ><資源の使いやすさ>をポイントとして強化しました。

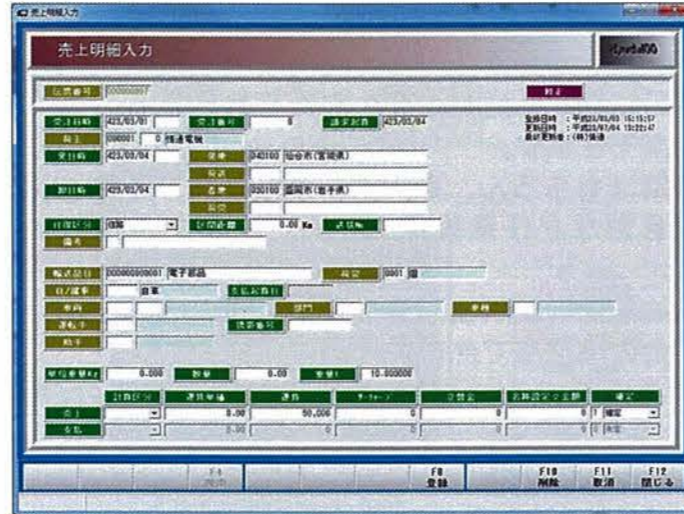
基本業務から管理分析業務まであらゆる業務シーンでの”改善”を実現する機能を搭載しております。

売上処理

【売上入力】

入力パターンを複数登録し、選択して入力できます。

必要な項目のみを入力できますので、入力のスピードアップと誤入力防止に役立ちます。



【月極入力】

月極のチャーター便や契約便の入力ができ、一運行毎の運賃や支払の入力ができます。

請求は一本でも、社内実績は詳細に管理、分析できます。



【売上明細複数入力】

一運行で複数の荷主様の荷物を積み合わせる場合等に、荷主様の情報や荷物情報（売上明細）を複数入力する事ができ、入力のスピードアップにつながります。

また、入力画面では検索も容易に行えます。



【未定運賃連続入力】

運賃未定で売上入力し、運賃が決定しだい金額を入力して、売上を確定する事ができます。

未定運賃のみを一覧表示して、運賃確定漏れを防ぐ事ができます。

さらに処理のスピードアップを図ります。



【請求明細一覧表】

日々入力する売上明細を荷主順・備車/車両順・運転手順・着地順・品目順など様々なパターンで印刷することができます。



請求処理

【請求書】

請求書はA4コピー用紙対応で、会社ロゴや会社印もイメージを取り込んで印字することができます。
営業所・支店・部署で分類する一括請求書や発地・着地・品目・車両・担当者別に分類するなどの複雑な請求書にも対応しています。

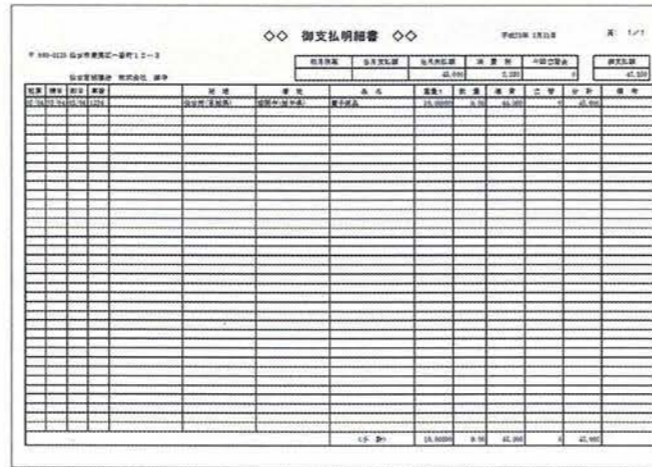


The image shows a sample request form titled '請求書' (Request Form). It includes a header section with company information for '株式会社 通' (Company Name) and '〒762-0824 徳島市大塚区杉野町2番3号' (Address). Below the header is a table with columns for '品目' (Item), '数量' (Quantity), '単価' (Unit Price), and '金額' (Amount). The table contains several rows of data, including items like '燃料費' (Fuel fee) and '賃借料' (Lease fee). At the bottom, there are fields for '合計金額' (Total Amount) and '支払期日' (Payment Date).

支払処理

【支払明細書】

備車に頼んだ仕事に対して支払う金額を案内する支払明細書です。
さらなる事務効率化を図ります。

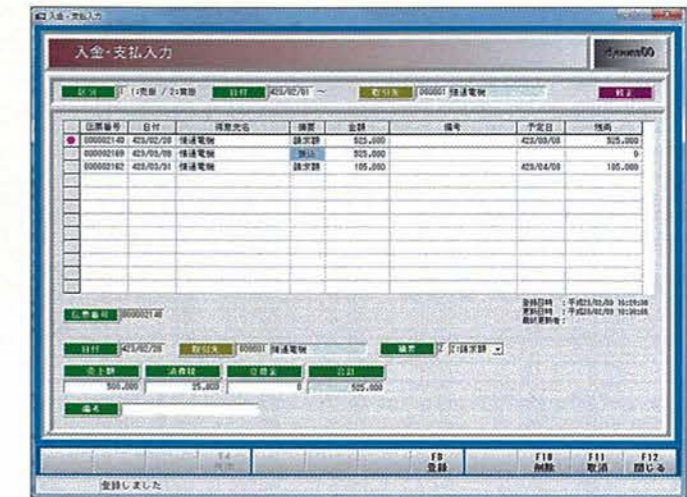


The image shows a sample payment statement titled '支払明細書' (Payment Statement). It includes a header section with company information for '株式会社 通' (Company Name) and '〒762-0824 徳島市大塚区杉野町2番3号' (Address). Below the header is a table with columns for '品目' (Item), '数量' (Quantity), '単価' (Unit Price), and '金額' (Amount). The table contains several rows of data, including items like '燃料費' (Fuel fee) and '賃借料' (Lease fee). At the bottom, there are fields for '合計金額' (Total Amount) and '支払期日' (Payment Date).

売買掛処理

【入金・支払入力】

請求書を発行すると売掛金額、支払明細書を発行すると買掛金額のデータを自動作成します。
荷主からの入金処理は備車への支払処理で荷主毎の売掛対入金の管理、備車毎の買掛対支払の管理が可能です。



The image shows a screenshot of a software interface titled '入金・支払入力' (Input of Receipts and Payments). The interface displays a table with columns for '入金番号' (Receipt No.), '入金日' (Receipt Date), '入金種別' (Receipt Type), '金額' (Amount), and '備注' (Remarks). The table contains several rows of data, including receipts for '現金' (Cash) and '振込' (Bank Transfer). At the bottom, there are fields for '合計金額' (Total Amount) and '支払期日' (Payment Date).

【売掛状況月度推移表】

請求書を発行すると売掛金額、支払明細書を発行すると買掛金額のデータを自動作成します。
荷主からの入金処理は備車への支払処理で荷主毎の売掛対入金の管理、備車毎の買掛対支払の管理が可能です。



The image shows a '売掛状況月度推移表' (Accounts Receivable Monthly Trend Table). The table has columns for '年月' (Month/Year), '月初残高' (Opening Balance), '当月発生' (Current Month Generation), '当月支払' (Current Month Payment), and '月末残高' (Closing Balance). The table contains several rows of data, including months from '2010/10' to '2011/10'. At the bottom, there are fields for '合計' (Total) and '平均' (Average).

【買掛状況月度推移表】

指定月から過去3ヶ月さかのぼって買掛と支払の金額の推移を見ることができます。
資金繰りに活用することが可能です。

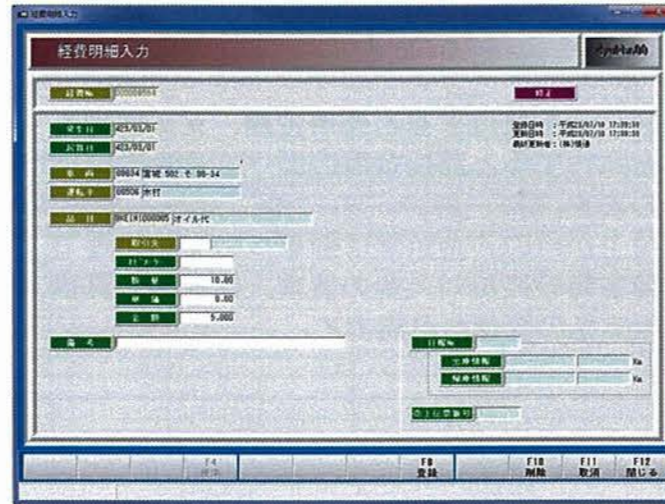


The image shows a '買掛状況月度推移表' (Accounts Payable Monthly Trend Table). The table has columns for '年月' (Month/Year), '月初残高' (Opening Balance), '当月発生' (Current Month Generation), '当月支払' (Current Month Payment), and '月末残高' (Closing Balance). The table contains several rows of data, including months from '2010/10' to '2011/10'. At the bottom, there are fields for '合計' (Total) and '平均' (Average).

経費処理

【経費明細入力】

運行に関する経費や修理にかかった経費など日々発生する変動経費を発生日毎に入力できます。
日報メンテナンスから入力できる経費情報とも連動しています。



【固定経費入力】

車両1台に対して毎月固定で決まっている車検費用や保険料などの経費を月毎に入力できます。
月別の車両別収支が把握できます。



【固定経費入力（年割）】

車両1台に対して年間で決まっている車検費用や保険料などの経費を年額で入力し、月額に按分する処理です。
固定経費入力に連動しますので、月別の車両別収支が把握できます。



【車両別収支報告書】

車両1台毎に、収入・運行経費・修理経費・車両費・人件費を集計することで、車両1台毎の収支を把握することができます。

車両番号	1998年4月	1998年5月	1998年6月	1998年7月	1998年8月	1998年9月	1998年10月	1998年11月	1998年12月	合計
収入	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	100000
運行経費	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000	50000
修理経費	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	10000
車両費	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	20000
人件費	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	10000
合計	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	100000

運輸基幹業務システム導入メリット

1 拡張性豊かなシステム

多彩なオプションの中から機能をセレクト出来ます。パッケージの中で自社に最適なシステム構築が可能です。
さまざまな売上入力パターンを選んで頂くことで、迅速かつ正確な売上処理が可能です。